

日本障害者リハビリテーション協会
R7（2025）年度末 一般提供申請アンケート結果
「日本語に通じない児童生徒（外国人児童生徒等）データ概要版」

2025 年度の日本語に通じない児童生徒の一般提供申請者は、1,118 名、教育委員会・学校図書館経由申請者は、3,255 名、合計 4,373 名となった。「日本語に通じない児童生徒」を対象として実施した年度末アンケートの回答者は、304 名。一般提供申請枠で見れば、回収率は、27.2%（ただし、全体数で見ると、7.0%）となる。

教育委員会・学校図書館経由申請については、令和 8 年 2 月 23 日に実施したデイジー教科書の事例報告会にて感想等の回答データの分析をまとめている。

https://www.dinf.ne.jp/daisy/wp-content/uploads/2026/02/daisyR07_jirei_report1.pdf

なお、本アンケート調査は、日本障害者リハビリテーション協会と立命館大学デイジー研究会が協力して実施し、立命館大学名誉教授小澤亘、京都大学講師楠敬太がデータ分析を担当した。

内容

内容

1) 申請者種別	2
2) 在籍種別	2
3) デイジー教科書の利用場所	3
4) デイジー教科書をどこで知ったか	3
5) 教科書・教材との併用について	4
6) デイジー教科書で便利な点	5
7) 2026 年度新規付加機能に対する意見	5
8) デイジー教科書の利用期間	6
9) デイジー教科書の利用頻度	7
10) 読み困難さの状況	8
11) 障害種別について	8
12) 母語種別	9
13) JSL 日本語能力評価	10
14) デイジー教科書の役立ち度	10
15) デイジー教科書に対する「役立ち度」と日本語能力レベル、使用頻度、学年のクロス分析	11
16) デイジー教科書の学び効果—日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較	13
17) JSL 日本語能力評価とデイジー教科書の学び効果	14
18) 学年ごとのデイジー教科書の学び効果—日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較	15
19) デイジー教科書の学び効果と利用頻度—日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較	18

1) 申請者種別

日本語に通じない児童生徒（外国人児童生徒等）の申請者種別の結果は、図1のとおりである。

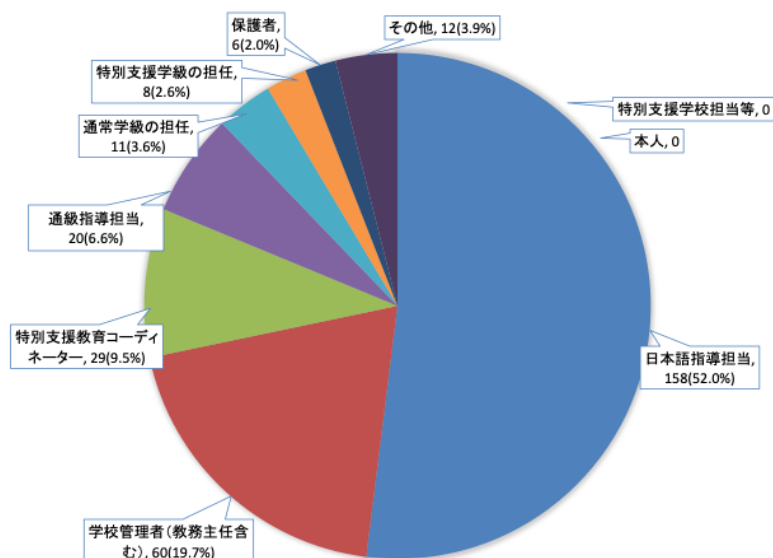


図1 申請者種別（日本語に通じない児童生徒）

回答者304名の申請者種別は、「日本語指導担当」が158名（52.0%）と最も多く、次いで「学校管理者（教務主任含む）」60名（19.7%）、「特別支援教育コーディネーター」29名（9.5%）、「通級指導担当」20名（6.6%）であった。また、「通常学級の担任」11名（3.6%）、「特別支援学級の担任」8名（2.6%）、「保護者」6名（2.0%）であった。

2) 在籍種別

日本語に通じない児童生徒が学校でどのように在籍していたかについては、図2のとおりである。

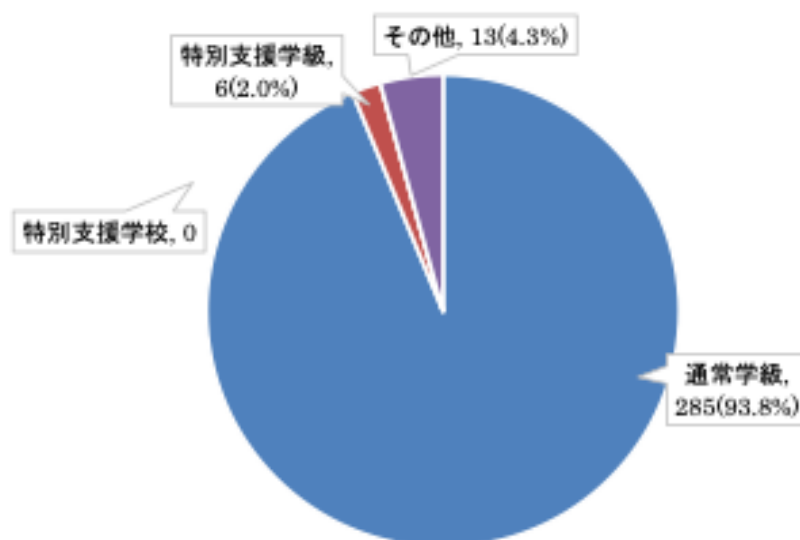


図2 在籍種別（日本語に通じない児童生徒）

在籍種別については、「通常学級」が 285 名（93.8%）と大半を占めていた。次いで、「その他」が 13 名（4.3%）、「特別支援学級」が 6 名（2.0%）であり、「特別支援学校」に在籍する児童生徒はみられなかった。「その他」の内訳としては、「日本語教室」「日本語学級」「日本語指導」といった、日本語指導を目的とした場に在籍しているケースが複数みられた。また、「海外在住プライベート」「自宅学習」といった学校外で学習しているケースも含まれていた。

3) デイジー教科書の利用場所

日本語に通じない児童生徒がデイジー教科書をどこで利用したか（多肢選択）については図 3 のとおりである。^{注 1}

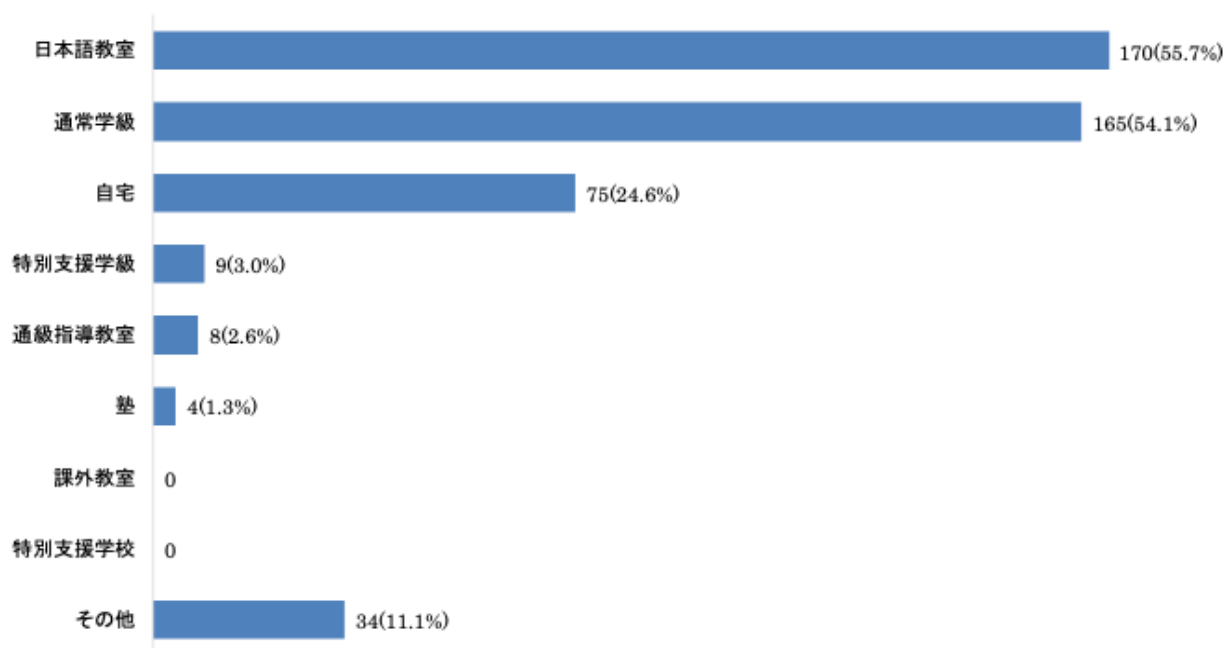


図 3 デイジー教科書の利用場所（日本語に通じない児童生徒）

デイジー教科書の利用場所については、「日本語教室」が 170 名（55.7%）と最も多く、次いで「通常学級」が 165 名（54.1%）であった。また、「自宅」は 75 名（24.6%）、「その他」は 34 名（11.1%）であり、「特別支援学級」は 9 名（3.0%）、「通級指導教室」は 8 名（2.6%）、「塾」は 4 名（1.3%）であった。一方で、「課外教室」および「特別支援学校」での利用はみられなかった。

「その他」の利用場所としては、「難民の子どもたちを対象としたオンラインでの日本語・学習支援教室」という回答が最も多くみられた。また、「学校での取り出し授業」「個別指導」「個別指導教室」「オンライン日本語補習校」「日本人補習校」などでの活用もみられた。全体として、日本語教室や通常学級を中心に活用される一方、自宅やオンラインを含む多様な学習環境で利用されていることがうかがえる。

4) デイジー教科書をどこで知ったか

日本語に通じない児童生徒がデイジー教科書をどこで知ったか（多肢選択）についての結果は、図 4 のとおりである。

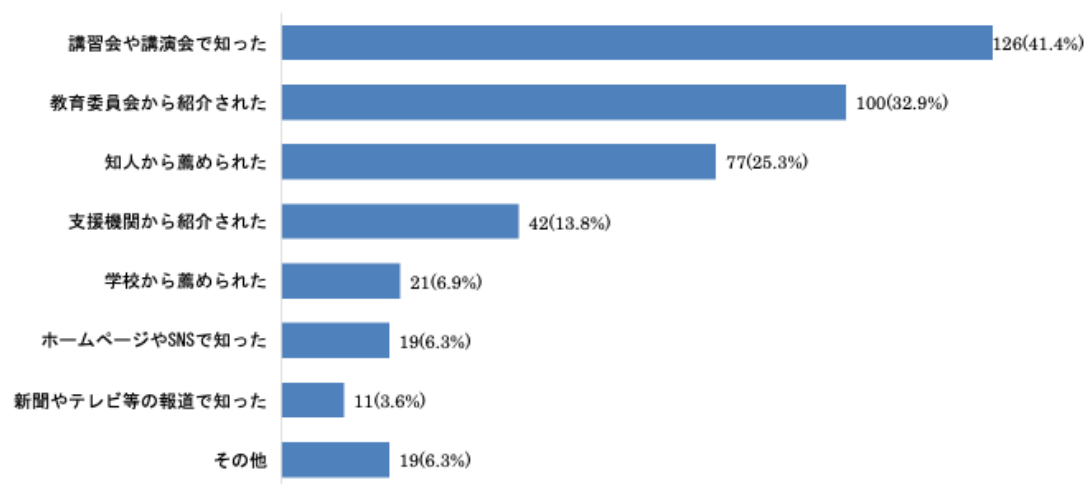


図 4 デイジー教科書をどこで知ったか（日本語に通じない児童生徒）

デイジー教科書を知ったきっかけとしては、「講習会や講演会で知った」が 126 名（41.4%）と最も多かった。次いで、「教育委員会から紹介された」が 100 名（32.9%）、「知人から薦められた」が 77 名（25.3%）、「支援機関から紹介された」が 42 名（13.8%）であった。また、「学校から薦められた」は 21 名（6.9%）、「ホームページや SNS で知った」および「その他」はそれぞれ 19 名（6.3%）、「新聞やテレビ等の報道で知った」は 11 名（3.6%）であった。全体として、講習会や教育委員会など、教育・支援関係者を通じた情報提供が主な認知経路となっていることがうかがえる。なお、「その他」には、他校での活用事例やインターネット上の情報、研究会、校内での実践経験などを通じて知ったケースが含まれている。

5) 教科書・教材との併用について

日本語に通じない児童生徒に、教科書・教材との併用について聞いた結果は、図 5 のとおりである。

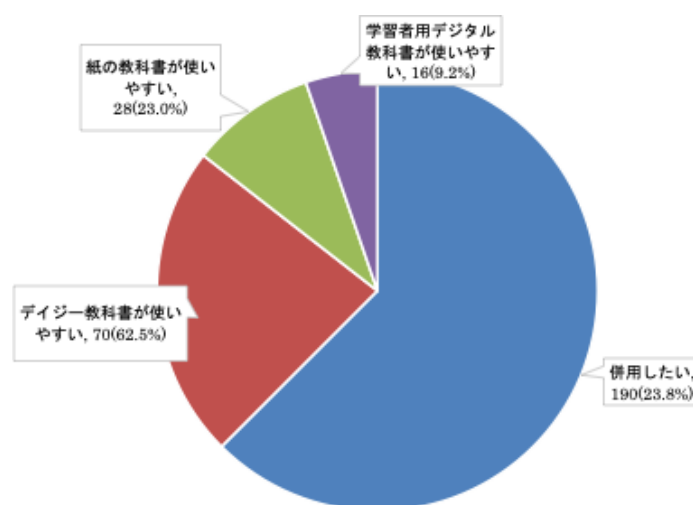


図 5 教科書・教材との併用（日本語に通じない児童生徒）

教科書・教材の併用については、「(デイジー教科書・学習者用デジタル教科書・紙の教科書等を)併用したい」が190名(62.5%)と最も多く、全体の6割以上を占めていた。次いで、「デイジー教科書が使いやすい」が70名(23.0%)、「紙の教科書が使いやすい」が28名(9.2%)、「学習者用デジタル教科書が使いやすい」が16名(5.3%)であった。全体として、特定の教材のみを利用するのではなく、複数の教科書・教材を状況に応じて自由に併用したいというニーズが高いことがうかがえる。

6) デイジー教科書で便利な点

日本語に通じない児童生徒において、デイジー教科書で便利な機能について(多肢選択)は、図6のとおりである。

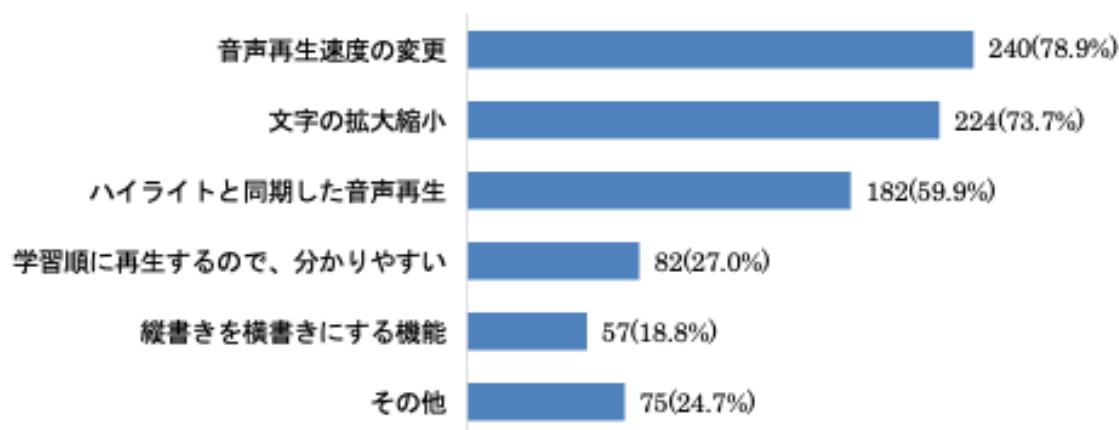


図6 デイジー教科書で便利な機能(日本語に通じない児童生徒)

デイジー教科書で便利だと感じる機能については、「音声再生速度の変更」が240名(78.9%)と最も多く、次いで「文字の拡大縮小」が224名(73.7%)、「ハイライトと同期した音声再生」が182名(59.9%)であった。また、「学習順に再生するので、分かりやすい」は82名(27.0%)、「縦書きを横書きにする機能」は57名(18.8%)、「その他」は75名(24.7%)であった。全体として、文字の見やすさや音声再生に関する機能へのニーズが高いことがうかがえる。なお、「その他」では、ルビの調整機能や学年別のふりがな設定、挿絵による視覚的な分かりやすさなどが挙げられている。

7) 2026年度新規付加機能に対する意見

2026年度より、新しく付加予定の機能＝「デイジー教科書のハイライトしたテキストをコピーして、PC/タブレットの画面に貼り付け、インターネットを活用して、翻訳したり、意味・写真を検索できたり、ノートとしても貼り付けたりできる機能」に関する意見の結果は、図7のとおりである。

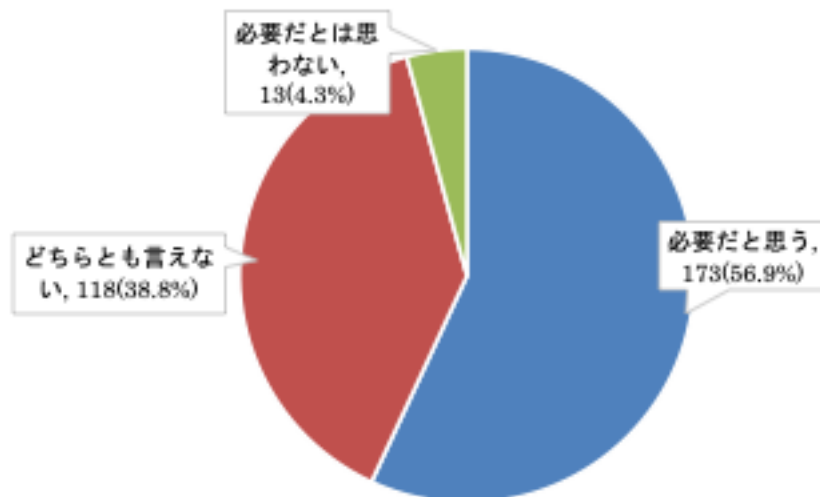


図7 新しく付加予定の機能に対する意見（日本語に通じない児童生徒）

新しく付加予定の機能については、「必要だと思う」が173名（56.9%）と最も多く、過半数を占めている。一方で、「どちらとも言えない」は118名（38.8%）、「必要だとは思わない」は13名（4.3%）であった。全体として、新機能の追加に対して肯定的な回答が多くみられる。

「必要だと思う」と回答した理由としては、翻訳機能や言葉・画像検索機能への期待が多く、日本語に通じない児童生徒や外国ルーツの子どもの学習理解や語彙獲得に役立つという意見がみられる。また、ノート代替やオンライン支援など、学習支援の幅を広げる機能としても期待されている。

一方、「必要だとは思わない」と回答した理由としては、教科書改訂時の更新作業や利用環境の整備に関する懸念が挙げられている。

その他の要望としては、外国語での説明文書や操作動画、多言語対応、申請手続きの簡略化、読み上げ機能の改善などが挙げられている。

8) デイジー教科書の利用期間

日本語に通じない児童生徒の「デイジー教科書の利用期間」は、図8のとおりである。

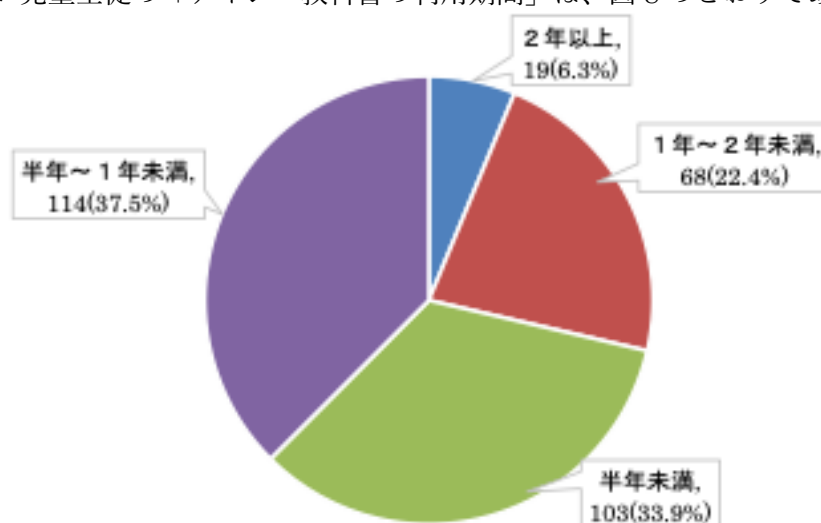


図8 デイジー教科書の利用期間（日本語に通じない児童生徒）

デイジー教科書の利用期間については、「半年～1年未満」が114名（37.5%）と最も多く、次いで「半年未満」が103名（33.9%）であった。「1年～2年未満」は68名（22.4%）、「2年以上」は19名（6.3%）であった。利用開始から1年未満の利用者が多い。

9) デイジー教科書の利用頻度

日本語に通じない児童生徒のデイジー教科書利用頻度は、図9のとおりである。

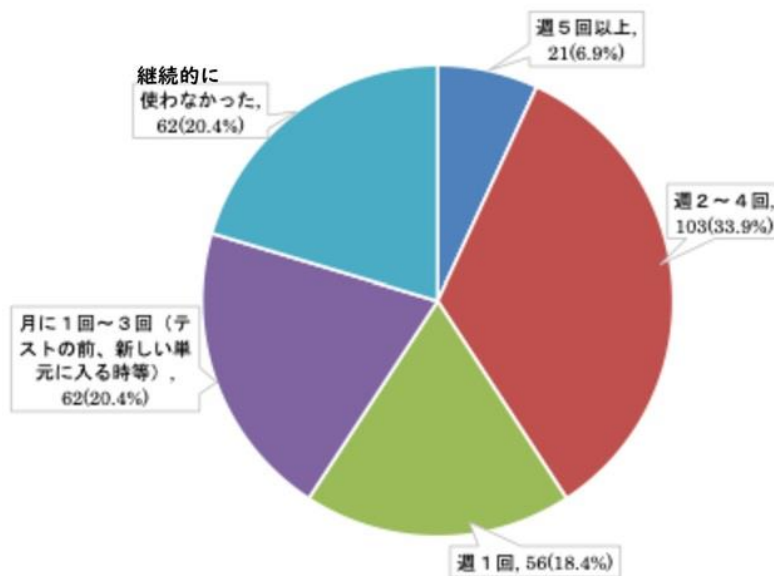


図9 デイジー教科書の利用頻度（日本語に通じない児童生徒）

デイジー教科書の利用頻度については、「週2～4回」が103名（33.9%）と最も多かった。次いで、「月に1回～3回（テスト前や新しい単元に入る時等）」および「継続的に使わなかった」がそれぞれ62名（20.4%）、「週1回」が56名（18.4%）、「週5回以上」が21名（6.9%）であった。全体として、定期的に利用しているケースが多い一方で、特定の場面に限定して利用しているケースや、利用に至らなかったケースも、一定数、みられた。

10) 読み困難さの状況

日本語に通じない児童生徒の「読みの困難さ」（多肢選択）については、図 10 のとおりである。

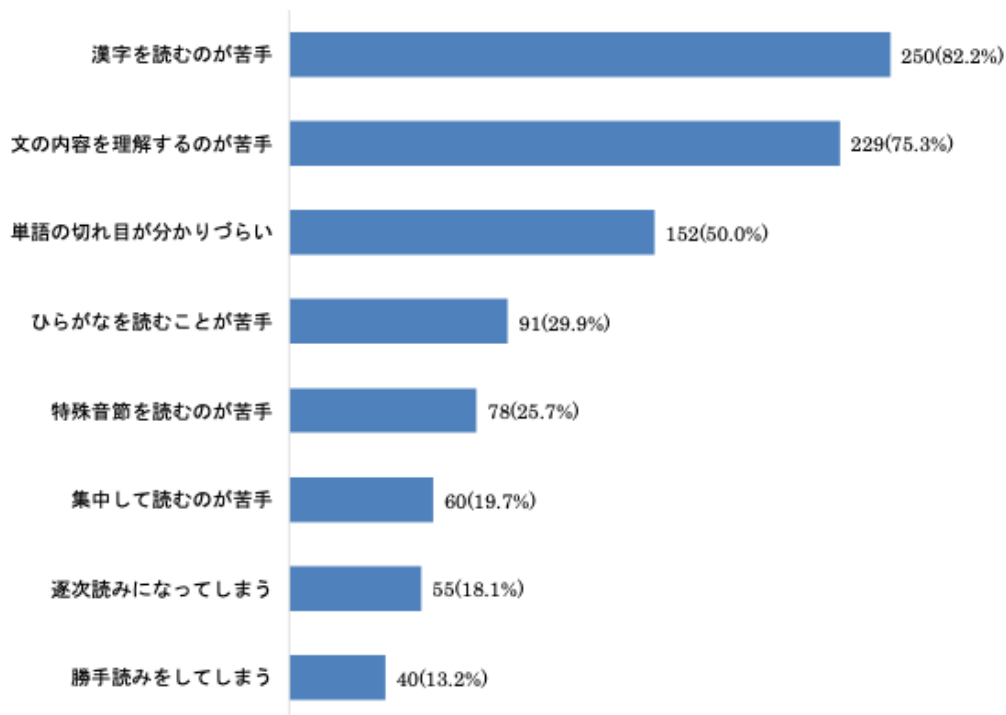


図 10 読みの困難さ（日本語に通じない児童生徒）

読みの困難さについては、「漢字を読むのが苦手」が 250 名（82.2%）と最も多く、次いで「文の内容を理解するのが苦手」が 229 名（75.3%）、「単語の切れ目が分かりづらい」が 152 名（50.0%）であった。また、「ひらがなを読むことが苦手」は 91 名（29.9%）、「特殊音節を読むのが苦手」は 78 名（25.7%）、「集中して読むのが苦手」は 60 名（19.7%）、「逐次読みになってしまう」は 55 名（18.1%）、「勝手読みをしてしまう」は 40 名（13.2%）であった。全体として、漢字の読みや文章理解で困難を抱えるケースが多いことがうかがえる。

11) 障害種別について

日本語に通じない児童生徒のうち、障害があるとされるケースについてみると、「発達障害」および「知的障害」がそれぞれ 3 名、「聴覚障害」が 1 名、合計 7 名であった。一方で、「視覚障害」および「肢体不自由」はみられなかった。

12) 母語種別

日本語に通じない児童生徒の母語は、図 11 のとおりであった。

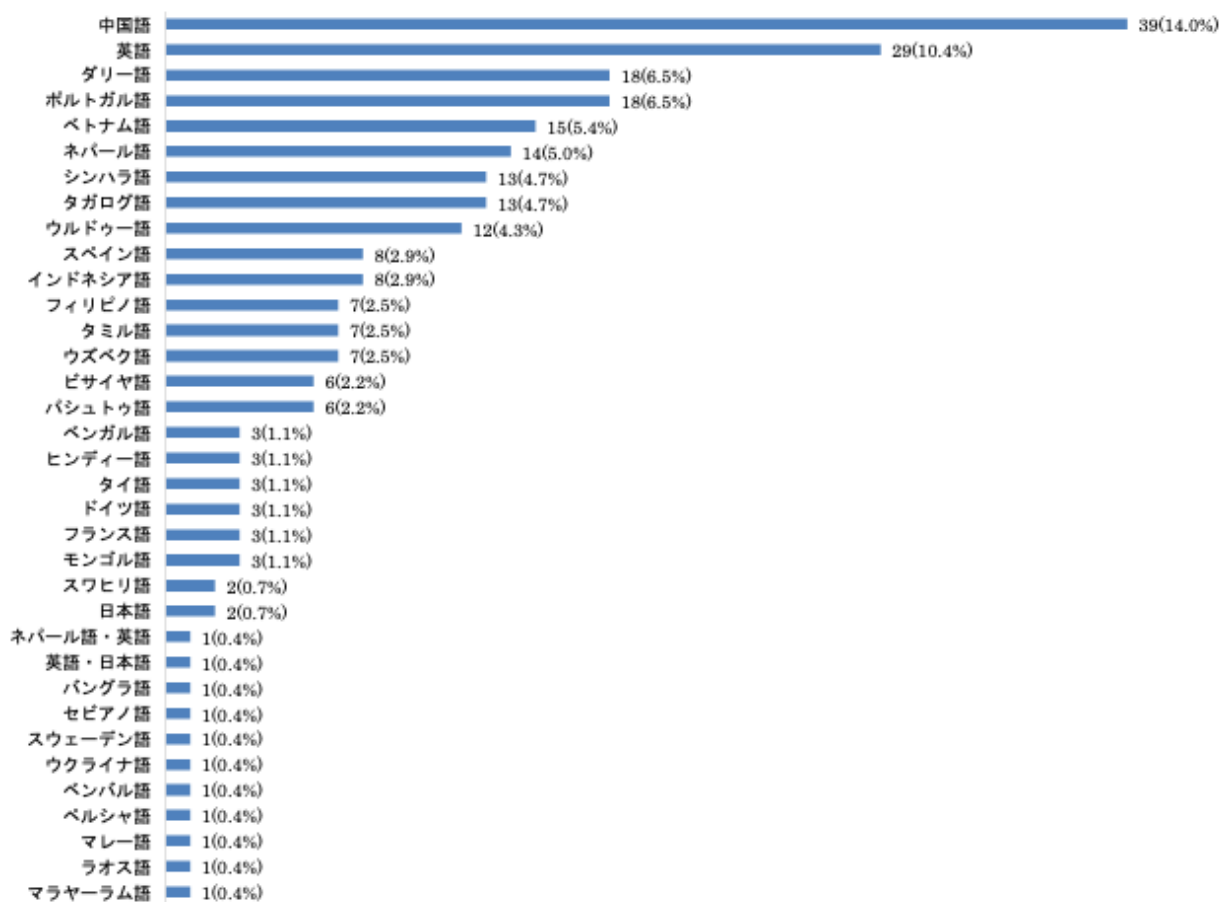


図 11 日本語に通じない児童生徒の母語種別

母語については、「中国語」が 39 件（14.0%）と最も多く、次いで「英語」が 29 件（10.4%）、「ポルトガル語」および「ダリー語」がそれぞれ 18 件（6.5%）、「ベトナム語」が 15 件（5.4%）、「ネパール語」が 14 件（5.0%）であった。その他にも、タガログ語、ウルドゥー語、シンハラ語など、多様な言語背景をもつ児童生徒が含まれていた。

13) JSL 日本語能力評価

日本語に通じない児童生徒の JSL 日本語能力評価は、図 12 のとおりである。

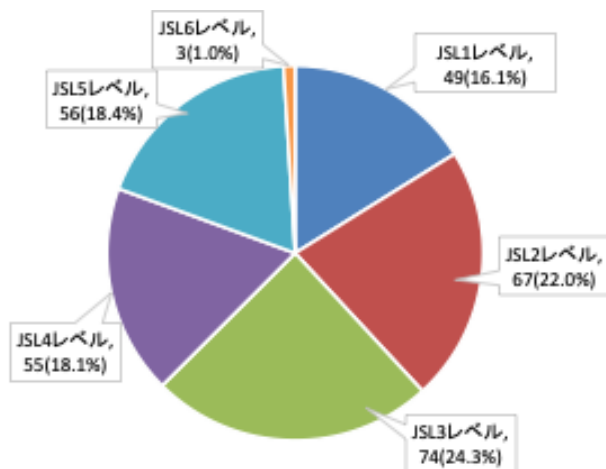


図 12 日本語に通じない児童生徒の JSL 日本語能力評価

JSL 日本語能力評価については、「JSL3 レベル」が 74 名（24.3%）と最も多く、次いで「JSL2 レベル」が 67 名（22.0%）、「JSL5 レベル」が 56 名（18.4%）、「JSL4 レベル」が 55 名（18.1%）、「JSL1 レベル」が 49 名（16.1%）であった。一方で、「JSL6 レベル」は 3 名（1.0%）であった。全体として、JSL2～5 レベルに分布が集中している。

14) デイジー教科書の役立ち度

日本語に通じない児童生徒の学習にデイジー教科書がどのくらい役立ったかについては、図 13 のとおりである。

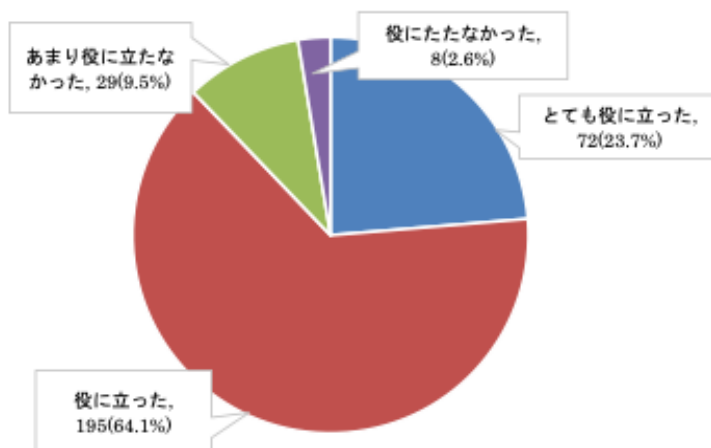


図 13 デイジー教科書が学習にどのくらい役立ったか

デイジー教科書が学習にどのくらい役立ったかについては、「役に立った」が 195 名（64.1%）と最も多く、「とても役に立った」は 72 名（23.7%）であった。一方で、「あまり役に立たなかった」は 29 名（9.5%）、「役に立たなかった」は 8 名（2.6%）であった。デイジー教科書を肯定的に評価する回答が多くみられた。

15) デイジー教科書に対する「役立ち度」と日本語能力レベル、使用頻度、学年のクロス分析

デイジー教科書に対する「役立ち度」と日本語能力レベル、使用頻度、学年のクロス分析結果は、表 1 のとおり。なお、表中の上段は人数、下段は%を示している。

表 1 デイジー教科書に対する「役立ち度」と日本語能力レベル、使用頻度、学年のクロス分析

	学習に役立ったか				合計
	とても役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	
JSL1レベル	14	23	7	5	49
	28.6	46.9	14.3	10.2	100.0
JSL2レベル	20	42	2	3	67
	29.9	62.6	3.0	4.5	100.0
JSL3レベル	19	45	10	0	74
	25.7	60.8	13.5	0.0	100.0
JSL4レベル	13	38	4	0	55
	23.6	69.1	7.3	0.0	100.0
JSL5レベル	5	47	4	0	56
	8.9	84	7.1	0.0	100.0
JSL6レベル	1	0	2	0	3
	33.3	0.0	66.7	0.0	100.0

	学習に役立ったか				合計
	とても役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	
週5回以上	18	3	0	0	21
	85.7	14.3	0.0	0.0	100.0
週2～4回	37	65	1	0	103
	35.9	63.1	1.0	0.0	100.0
週1回	7	48	1	0	56
	12.5	85.7	1.8	0.0	100.0
月に1～3回	9	50	3	0	62
	14.5	80.7	4.8	0.0	100.0
継続的に使用しなかった	1	29	24	8	62
	1.6	46.8	38.7	12.9	100.0

	学習に役立ったか				合計
	とても役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	
小学1年生	7	28	1	2	38
	18.4	73.7	2.6	5.3	100.0
小学2年生	9	22	5	2	38
	23.7	57.8	13.2	5.3	100.0
小学3年生	10	26	3	0	39
	25.6	66.7	7.7	0.0	100.0
小学4年生	13	28	5	1	47
	27.7	59.6	10.6	2.1	100.0
小学5年生	12	25	6	0	43
	27.9	58.1	14	0.0	100.0
小学6年生	11	25	2	0	38
	28.9	65.8	5.3	0.0	100.0
中学1年生	3	19	6	0	28
	10.7	67.9	21.4	0.0	100.0
中学2年生	3	17	0	1	21
	14.3	80.9	0	4.8	100.0
中学3年生	4	5	0	2	11
	36.4	45.4	0.0	18.2	100.0
合計	72	195	28	8	303
	23.8	64.4	9.2	2.6	100.0

デイジー教科書の役立度を JSL 日本語能力評価段階別にみると、JSL1 レベルにおいても「とても役に立った」「役に立った」を合わせると 75.5%を占めており、日本語初歩段階からデイジー教科書が一定の役立ち感をもって利用されていることが分かった。また、JSL2～5 レベルでは肯定的回答がさらに高く、特に JSL5 レベルでは 9 割以上が肯定的に評価している。一方、JSL6 レベルは回答数自体が少ないのが、気になりとなる。今後、JSL6 レベルでも活用していくことが、デイジー教科書普及政策として重要な課題となると言えるだろう。

利用頻度別にみると、週 5 回以上利用している群では、「とても役に立った」が 85.7%を占めており、利用頻度が高いほど肯定的評価が高まる傾向が明確に確認された。一方、「継続的に使用しなかった」群では、「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」が合わせて半数を超えていた。このことから、継続的・習慣的な活用が学習効果の向上に大きく関係していることが示唆される。

学年別にみると、小学校段階では全体的に肯定的回答が高く、特に小学 4～6 年生では「とても役に立った」の割合も比較的高かった。一方、中学校段階では肯定的回答は維持されているものの、「あまり役に立たなかった」の割合がやや増加する傾向もみられる。これらの結果から、①小学校初年度からの使用開始と、②小中学校を通じた継続的な活用の 2 点が重要な課題となると言えるだろう。

また、支援者側が「効果がある」と考えていても、本人が使用したがないケースも、一定数、存在する。児童生徒自身が「使いたい」と感じられるような支援や活用方法を、今後、工夫していくことも重要な課題である。

16) デイジー教科書の学び効果—日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較

デイジー教科書の学び効果を日本人児童生徒（2018 年度調査データ注2）と日本語に通じない児童生徒（＝外国人児童生徒等）とで詳細に比較した。結果は、表 2 のとおり。ただし、継続的にデイジー教科書を使用した児童生徒を分析対象としている。

表 2 デイジー教科書の学び効果—日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較

		日本人児童生徒2018年調査				外国人児童生徒2025年調査			
		大いにそ う思う	ややそ う思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い	大いにそ う思う	ややそ う思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い
Ⅰ	読みがスムーズ（流暢）になった	8	195	471	165	42	165	34	1
		1.0	23.2	56.1	19.7	17.4	68.2	14.0	0.4
	読むスピードが適度なスピードになった	16	299	429	95	33	154	54	1
		1.9	35.6	51.2	11.3	13.6	63.7	22.3	0.4
	文節の区切りが上手になった	13	227	461	138	32	155	53	2
		1.5	27.1	55.0	16.4	13.2	64.1	21.9	0.8
	読み間違えが少なくなった	11	235	444	149	30	162	48	2
		1.3	28.0	52.9	17.8	12.4	67.0	19.8	0.8
読める漢字が増えた	19	245	430	145	38	148	55	1	
	2.3	29.2	51.2	17.3	15.7	61.2	22.7	0.4	
Ⅱ	抑揚をつけるなど、感情を込めて読める	32	429	304	74	20	129	87	6
		3.8	51.2	36.2	8.8	8.3	53.2	36.0	2.5
	文章の理解度がよかった	16	252	441	130	36	158	46	2
		1.9	30.0	52.6	15.5	14.9	65.3	19.0	0.8
	会話等で使用する語彙が増えた	30	411	323	75	35	157	46	4
		3.6	49.0	38.5	8.9	14.5	64.8	19.0	1.7
	テストの点があがった	41	396	312	90	21	114	101	6
		4.9	47.2	37.2	10.7	8.7	47.1	41.7	2.5
Ⅲ	読むことへの抵抗感、苦手感、嫌悪感が減った 読むことを嫌だと言わなくなった	14	156	397	272	42	154	45	1
		1.7	18.6	47.3	32.4	17.4	63.6	18.6	0.4
	読むことに興味、関心ができた 進んで一般の本なども読もうとする姿勢が出てきた	43	319	324	153	23	135	82	2
		5.1	38.0	38.7	18.2	9.5	55.8	33.9	0.8
	授業に参加する姿勢が以前より増した 発言等の機会が増えた	28	308	373	130	39	135	66	2
		3.3	36.7	44.5	15.5	16.1	55.8	27.3	0.8
	周りの人も子どもの成長を認識した	35	330	360	114	33	146	62	1
		4.2	39.3	42.9	13.6	13.6	60.4	25.6	0.4
	デイジー教科書を使用した教科への学習に意欲がでた 自分から勉強するようになった	30	307	378	124	27	148	64	3
		3.6	36.6	45.0	14.8	11.2	61.2	26.4	1.2
	テスト問題などあきらめずに解こうとするようになった	34	316	377	112	36	141	61	4
		4.1	37.7	44.9	13.3	14.9	58.2	25.2	1.7
自己肯定感や自尊感情が増した	20	238	433	148	38	155	48	1	
	2.4	28.4	51.6	17.6	15.7	64.0	19.8	4.0	

（上段：人数 下段：％）

学びの効果の類型Ⅰは「読み能力」関連、類型Ⅱは「日本語理解」関連、類型Ⅲは「学びの態度形成」関連として性格規定できる。学び類型Ⅱに含まれる「感情を込めて読める」「テストの点があがる」の2項目については、読み等に困難のある日本人児童生徒と外国人児童生徒等との間には同じ傾向がみられた。一方、それ以外の項目については、日本語に通じない児童生徒（外国人児童生徒等）の方が、より高い学び効果があることが確認された。2026 年度より導入されたテキストコピー機能を活用し、多言語翻訳やウェブ検索が可能となると、学び類型Ⅱにおける効果が向上することが期待される。

17) JSL 日本語能力評価とデイジー教科書の学び効果

JSL 日本語能力評価段階とデイジー教科書による学び効果との関係について、各学び効果類型から 2 項目ずつ選び、合計 6 項目でクロス分析を行った（表 3 参照）。表中の上段は人数、下段は％を表示。

表 3 JSL 日本語能力評価とデイジー教科書の学び効果

	文節の区切りが上手になった				読める漢字が増えた			
	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
JSL1レベル	0	19	18	0	6	16	15	0
	0.0	51.4	48.6	0.0	16.2	43.3	40.5	0.0
JSL2レベル	7	38	10	2	7	37	12	1
	12.3	66.7	17.5	3.5	12.3	64.8	21.1	1.8
JSL3レベル	8	37	12	0	4	38	15	0
	14.0	64.9	21.1	0.0	7.0	66.7	26.3	0.0
JSL4レベル	7	35	6	0	8	31	9	0
	14.6	72.9	12.5	0.0	16.7	64.5	18.8	0.0
JSL5レベル	9	26	7	0	12	26	4	0
	21.4	61.9	16.7	0.0	28.6	61.9	9.5	0.0
JSL6レベル	1	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	会話等で使用する語彙が増えた				テストの点が上がった			
	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
JSL1レベル	7	19	10	1	3	19	15	0
	18.9	51.4	27.0	2.7	8.1	51.3	40.6	0.0
JSL2レベル	7	41	6	3	3	27	23	4
	12.3	71.9	10.5	5.3	5.3	47.3	40.4	7
JSL3レベル	10	36	11	0	4	22	29	2
	17.5	63.2	19.3	0.0	7.0	38.6	50.9	3.5
JSL4レベル	4	32	12	0	3	21	24	0
	8.3	66.7	25.0	0.0	6.3	43.7	50.0	0.0
JSL5レベル	6	29	7	0	8	24	10	0
	14.3	69.0	16.7	0.0	19.0	57.2	23.8	0.0
JSL6レベル	1	0	0	0	0	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	読むことへの抵抗感、書き癖、練習感が減った 読むことを嫌だと言わなくなった				自己肯定感や自尊感情が増した			
	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
JSL1レベル	5	24	8	0	9	19	9	0
	13.5	64.9	21.6	0.0	24.3	51.4	24.3	0.0
JSL2レベル	9	34	13	1	6	39	11	1
	15.8	59.6	22.8	1.8	10.5	68.4	19.3	1.8
JSL3レベル	12	36	9	0	11	33	13	0
	21.1	63.1	15.8	0.0	19.3	57.9	22.8	0.0
JSL4レベル	8	32	8	0	6	34	8	0
	16.7	66.6	16.7	0.0	12.6	70.7	16.7	0.0
JSL5レベル	8	27	7	0	5	30	7	0
	19.0	64.3	16.7	0.0	11.9	71.4	16.7	0.0
JSL6レベル	0	1	0	0	1	0	0	0
	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

JSL1 レベルの日本語入門・初歩レベルでは学び効果は若干低いものの、総体的に学び効果が高いことがみられる。日本語入門・初歩からでも、デイジー教科書が活用され、実際、学習効果を上げていること

が確認できる。一方で、JSL6 レベルでの使用例は少なかった。JSL6 レベルであっても学習言語の習得では困難を抱えており、むしろ積極的に活用を促していく必要があるものと考えられる。

18) 学年ごとのデジ教科書の学び効果－日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較

学年ごとのデジ教科書の学び効果を日本人児童生徒（2018 年度データ）と日本語に通じない児童生徒（2025 年度データ）と比較した。6 つの学びの効果項目での比較を表 4 に示した。表中の上段は人数、下段は％を示している。

表 4 学年ごとのデジ教科書の学び効果－日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較

	文節の区切りが上手になった							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに 思う	やや 思う	あまり 思わ ない	全く 思わ ない	大いに 思う	やや 思う	あまり 思わ ない	全く 思わ ない
小学1年生	0	20	8	1	2	21	39	14
	0.0	69.0	27.6	3.4	2.6	27.6	51.3	18.4
小学2年生	2	24	5	0	3	31	62	29
	6.5	77.4	16.1	0.0	2.4	24.8	49.6	23.2
小学3年生	8	19	6	0	2	46	73	26
	24.2	57.6	18.2	0.0	1.4	31.3	49.7	17.7
小学4年生	7	19	8	1	1	35	78	24
	20.0	54.2	22.9	2.9	0.7	25.4	56.5	17.4
小学5年生	5	23	6	0	1	32	51	16
	14.7	67.7	17.6	0.0	1.0	32.0	51.0	16.0
小学6年生	5	22	4	0	2	21	62	14
	16.1	71.0	12.9	0.0	2.0	21.2	62.6	14.1
中学1年生	1	11	8	0	1	19	40	6
	5.0	55.0	40.0	0.0	1.5	28.8	60.6	9.1
中学2年生	3	12	5	0	1	17	39	6
	15.0	60.0	25.0	0.0	1.6	27.0	61.9	9.5
中学3年生	1	5	3	0	0	5	17	3
	11.1	55.6	33.3	0.0	0.0	20.0	68.0	12.0

	読める漢字が増えた							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに 思う	やや 思う	あまり 思わ ない	全く 思わ ない	大いに 思う	やや 思う	あまり 思わ ない	全く 思わ ない
小学1年生	1	15	13	0	2	25	38	11
	3.4	51.8	44.8	0.0	2.6	32.9	50.0	14.5
小学2年生	4	21	6	0	5	41	57	22
	12.9	67.7	19.4	0.0	4.0	32.8	45.6	17.6
小学3年生	7	17	9	0	1	50	73	23
	21.2	51.5	27.3	0.0	0.7	34.0	49.7	15.6
小学4年生	8	19	8	0	3	30	79	26
	22.9	54.2	22.9	0.0	2.2	21.7	57.2	18.8
小学5年生	5	26	3	0	1	33	47	19
	14.7	76.5	8.8	0.0	1.0	33.0	47.0	19.0
小学6年生	4	21	5	1	4	22	56	17
	12.9	67.8	16.1	3.2	4.0	22.2	56.6	17.2
中学1年生	3	12	5	0	1	16	38	11
	15.0	60.0	25.0	0.0	1.5	24.2	57.6	16.7
中学2年生	4	12	4	0	2	22	27	12
	20.0	60.0	20.0	0.0	3.2	34.9	42.9	19.0
中学3年生	2	5	2	0	0	6	15	4
	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0	24.0	60.0	16.0

	会話等で使用する語彙が増えた							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いにそ う思う	ややそ う思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い	大いにそ う思う	ややそ う思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い
小学1年生	6	17	6	0	4	36	26	10
	20.7	58.6	20.7	0.0	5.3	47.4	34.2	13.2
小学2年生	3	22	6	0	4	65	41	15
	9.7	70.9	19.4	0.0	3.2	52.0	32.8	12.0
小学3年生	5	22	6	0	6	74	55	12
	15.2	66.6	18.2	0.0	4.1	50.3	37.4	8.2
小学4年生	5	20	7	3	5	62	61	10
	14.3	57.1	20.0	8.6	3.6	44.9	44.2	7.2
小学5年生	1	27	6	0	2	54	34	10
	2.9	79.5	17.6	0.0	2.0	54.0	34.0	10.0
小学6年生	7	18	5	1	4	44	46	5
	22.6	58.1	16.1	3.2	4.0	44.4	46.5	5.1
中学1年生	5	9	6	0	2	34	26	4
	25.0	45.0	30.0	0.0	3.0	51.5	39.4	6.1
中学2年生	2	16	2	0	3	27	26	7
	10.0	80.0	10.0	0.0	4.8	42.9	41.3	11.1
中学3年生	1	6	2	0	0	15	8	2
	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0	60.0	32.0	8.0

	テストの点があがった							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いにそ う思う	ややそ う思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い	大いにそ う思う	ややそ う思う	あまりそ う思わな い	全くそ う思わな い
小学1年生	1	14	14	0	5	32	31	8
	3.4	48.3	48.3	0.0	6.6	42.1	40.8	10.5
小学2年生	1	19	10	1	5	63	42	15
	3.2	61.3	32.3	3.2	4.0	50.4	33.6	12.0
小学3年生	6	15	12	0	8	73	54	12
	18.2	45.4	36.4	0.0	5.4	49.7	36.7	8.2
小学4年生	5	12	16	2	5	64	55	14
	14.3	34.3	45.7	5.7	3.6	46.4	39.9	10.1
小学5年生	2	17	15	0	3	51	35	11
	5.9	50.0	44.1	0.0	3.0	51.0	35.0	11.0
小学6年生	2	15	13	1	6	35	46	12
	6.5	48.4	41.9	3.2	6.1	35.4	46.5	12.1
中学1年生	0	10	9	1	3	36	23	4
	0.0	50.0	45.0	5.0	4.5	54.5	34.8	6.1
中学2年生	3	8	8	1	5	30	16	12
	15.0	40.0	40.0	5.0	7.9	47.6	25.4	19.0
中学3年生	1	4	4	0	1	12	10	2
	11.2	44.4	44.4	0.0	4.0	48.0	40.0	8.0

	読むことに興味、関心ができた、進んで一般の本なども読もうとする姿勢が出てきた							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わな い	全く そう 思わな い	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わな い	全く そう 思わな い
小学1年生	7	21	6	0	2	28	27	19
	6.9	72.4	20.7	0.0	2.6	36.8	35.5	25.0
小学2年生	8	17	6	0	6	48	49	22
	25.8	54.8	19.4	0.0	4.8	38.4	39.2	17.6
小学3年生	9	20	4	0	8	55	56	28
	27.3	60.6	12.1	0.0	5.4	37.4	38.1	19.0
小学4年生	5	21	8	1	9	49	49	31
	14.3	59.9	22.9	2.9	6.5	35.5	35.5	22.5
小学5年生	7	23	4	0	7	43	36	14
	20.6	67.6	11.8	0.0	7.0	43.0	36.0	14.0
小学6年生	3	21	7	0	2	35	47	15
	9.7	67.7	22.6	0.0	2.0	35.4	47.5	15.2
中学1年生	3	13	4	0	4	27	24	11
	15.0	65.0	20.0	0.0	6.1	40.9	36.4	16.7
中学2年生	2	14	4	0	4	25	26	8
	10.0	70.0	20.0	0.0	6.3	39.7	41.3	12.7
中学3年生	3	4	2	0	1	9	10	5
	33.3	44.5	22.2	0.0	4.0	36.0	40.0	20.0

	自己肯定感や自尊感情が増した							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わな い	全く そう 思わな い	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わな い	全く そう 思わな い
小学1年生	4	22	3	0	3	19	39	15
	13.8	75.9	10.3	0.0	3.9	25.0	51.3	19.7
小学2年生	5	19	7	0	1	42	55	27
	16.1	61.3	22.6	0.0	0.8	33.6	44.0	21.6
小学3年生	7	23	3	0	5	40	77	25
	21.2	69.7	9.1	0.0	3.4	27.2	52.4	17.0
小学4年生	6	15	13	1	2	34	83	19
	17.1	42.9	37.1	2.9	1.4	24.6	60.1	13.8
小学5年生	4	25	5	0	1	34	49	16
	11.8	73.5	14.7	0.0	1.0	34.0	49.0	16.0
小学6年生	4	24	3	0	3	26	55	15
	12.9	77.4	9.7	0.0	3.0	26.3	55.6	15.2
中学1年生	3	8	9	0	2	21	31	12
	15.0	40.0	45.0	0.0	3.0	31.8	47.0	18.2
中学2年生	4	12	4	0	2	15	33	13
	20.0	60.0	20.0	0.0	3.2	23.8	52.4	20.6
中学3年生	1	7	1	0	1	7	11	6
	11.1	77.8	11.1	0.0	4.0	28.0	44.0	24.0

デイジー教科書については、小学校1、2年での使用を控えようとする学校現場での動きがあったり、読み困難児童生徒の把握ができず、小学校低学年での使用例が、実際、中学年に比べて低い傾向が見られたりすることが従来から指摘されてきた。

そこで、学年ごとにデイジー教科書による学習効果について、外国人児童生徒2025年調査と日本人児童生徒2018年調査を併せて見ていくと、低学年であっても、読みに困難のある日本人児童生徒、外国人児童生徒のいずれの場合も、一定、デイジー教科書による学び効果があることを確認することができる。

とりわけ、外国人児童生徒では、全体的により高い学習効果が認められ、デイジー教科書の使用によって、読み能力、日本語理解、語彙形成、学習意欲、自己肯定感の向上など、多面的な効果が見られることが分かる。特に小学校段階で学びの効果は高く、小学校初学年から継続的に活用させていくことの重要性を確認することができるだろう。一方、中学校段階では一部項目では効果がやや低い傾向もみられる。日本語習得に力点が置かれる小学校段階に比べて、中学校段階においては、教科書は厚くなり、学習内容、学習言語も高度化する。外国人児童生徒に向けたデジタル教材を活用した学習支援の在り方を、今後、検討・工夫していくべきだろう。

19) デイジー教科書の学び効果と利用頻度－日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較

デイジー教科書の利用頻度を、17)および18)と同様に、学びの効果6項目にてデイジー教科書の学び効果とクロス集計した結果を、日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒の両者において^{注3}、比較できるように示したのが、表5である。なお、表中の上段は人数、下段は%を示している。

表5 デイジー教科書の学び効果と利用頻度－日本人児童生徒と日本語に通じない児童生徒との比較

	文節の区切りが上手になった							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
週5回以上	5	13	3	0	2	24	38	26
	23.8	61.9	14.3	0.0	2.2	26.7	42.2	28.9
週2～4回	11	79	13	0	3	65	152	63
	10.7	76.7	12.6	0.0	1.1	23.0	53.7	22.3
週1回	4	38	13	1	4	50	139	39
	7.1	67.9	23.2	1.8	1.7	21.6	59.9	16.8
月に1～3回	12	25	24	1	9	131	229	62
	19.4	40.3	38.7	1.6	2.1	30.4	53.1	14.4

	読める漢字が増えた							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	大いにそう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない
週5回以上	7	10	3	1	3	22	43	22
	33.3	47.6	14.3	4.8	3.3	24.4	47.8	24.4
週2～4回	16	67	20	0	5	71	148	59
	15.5	65.1	19.4	0.0	1.8	25.1	52.3	20.8
週1回	6	34	16	0	9	60	122	41
	10.7	60.7	28.6	0.0	3.9	25.9	52.6	17.7
月に1～3回	9	37	16	0	6	143	214	68
	14.5	59.7	25.8	0.0	1.4	33.6	50.4	16.0

	会話等で使用する語彙が増えた							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
週5回以上	2	14	4	1	2	40	36	12
	9.5	66.7	19.0	4.8	2.2	44.4	40.0	13.3
週2～4回	17	76	9	1	9	114	126	34
	16.5	73.8	8.7	1.0	3.2	40.3	44.5	12.0
週1回	5	35	15	1	8	114	86	24
	8.9	62.5	26.8	1.8	3.4	49.1	37.1	10.3
月に1～3回	11	32	18	1	18	226	153	34
	14.5	64.9	19.0	1.6	4.2	52.4	35.5	7.9

	テストの点があがった							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
週5回以上	4	7	9	1	2	40	32	16
	19.0	33.3	42.9	4.8	2.2	44.4	35.6	17.8
週2～4回	7	64	31	1	13	118	111	41
	6.8	62.1	30.1	1.0	4.6	41.7	39.2	14.5
週1回	5	27	23	1	8	105	94	25
	8.9	48.2	41.1	1.8	3.4	45.3	40.5	10.8
月に1～3回	5	16	38	3	25	195	163	48
	8.1	25.8	61.3	4.8	5.8	45.2	37.8	11.1

	読むことに興味、関心がでてきた、進んで一般の本なども読もうとする姿勢が出てきた							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
週5回以上	9	10	2	0	6	23	38	23
	42.9	47.6	9.5	0.0	6.7	25.6	42.2	25.6
週2～4回	18	71	14	0	7	89	117	70
	17.5	68.9	13.6	0.0	2.5	31.4	41.3	24.7
週1回	5	39	12	0	15	79	98	40
	8.9	69.7	21.4	0.0	6.5	34.1	42.2	17.2
月に1～3回	10	34	17	1	30	185	149	67
	16.1	54.9	27.4	1.6	7.0	42.9	34.6	15.5

	自己肯定感や自尊感情が増した							
	外国人児童生徒2025年調査				日本人児童生徒2018年調査			
	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない	大いに そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
週5回以上	5	14	2	0	2	24	40	24
	23.8	66.7	9.5	0.0	2.2	26.7	44.4	26.7
週2～4回	19	73	11	0	5	62	156	60
	18.4	70.9	10.7	0.0	1.8	21.9	55.1	21.2
週1回	7	34	15	0	5	56	127	44
	12.5	60.7	26.8	0.0	2.2	24.1	54.7	19.0
月に1～3回	7	34	20	1	13	123	220	75
	11.3	54.8	32.3	1.6	3.0	28.5	51.0	17.4

使用頻度に関して、外国人児童生徒等では、デイジー教科書の利用頻度が高い群ほど、「文節の区切りが上手になった」「読める漢字が増えた」「会話等で使用する語彙が増えた」といった諸項目において、日本語読み能力や日本語理解能力に関する学び効果が高まる傾向が明確にみられた。特に、「週5回以上」および「週2～4回」利用している群では、「ややそう思う」「大いにそう思う」の割合が高く、より習慣的・継続的な使用が日本語学習支援に大きく寄与していることがうかがえる。

「読むことに興味・関心がでてきた」「自己肯定感や自尊感情が増した」といった学びの態度形成についても、外国人児童生徒等の方がより高い肯定的回答がみられた。特に、「週5回以上」利用している群では、「読むことへの興味・関心」や「自己肯定感」に関して9割前後が肯定的回答を示しており、デイジー教科書が学習意欲や自信の形成にも寄与していることが示唆された。

一方、「テストの点があがった」については、他項目と比べて肯定的回答がやや低く、「あまりそう思わない」の割合も一定程度みられた。ただし、使用頻度が高い群ほど肯定的回答が高まる傾向は確認されており、継続的な活用の重要性は変わらない。

日本人児童生徒 2018 年調査から、使用頻度が学び効果に与える影響は確認されていたが、外国人児童生徒等においては、その効果が顕著であることが確認できる。また、「自己肯定感」の向上なども見られることから、外国人児童生徒にとってデイジー教科書が、単なる読み支援や日本語学習支援だけでなく、日本における学校生活への適応を支える重要なツールとしても機能していることが推察される。

(注 1)

3) デイジー教科書の利用場所は多肢選択の回答であるため、%は全回答者数 304 人を母数して算出している。4) デイジー教科書をどこで知ったか、6) デイジー教科書で便利な点、10) 読み困難さの状況についても同様に、多肢選択回答であるため、全回答者数 304 人を母数として%を算出している。

(注 2)

今回、日本語に通じない児童生徒に向けたアンケートに組み込んだ「学びの効果」に関する調査項目は、今回の読み困難等のある日本人児童生徒に向けたアンケートには、組み込まれていない。そこで、16)～19)においては、2018 年度に大阪教育大学と日本障害者リハビリテーション協会が協力して実施した年度末調査から得られた日本人児童生徒データを活用して、外国人児童生徒等と日本人児童生徒のデータ比較を行うことにした。

(注 3)

2018 年度調査における使用頻度の選択項目は、「週1回」「週2～4回」「週5回以上」「テストの前」「新しい単元に入る時」「その他」であったが、今回のアンケート項目に合わせるため、「テストの前」「新しい単元に入る時」「その他」を統合し、「月に1～3回」として区分けしてデータ作成した。